



1 これまでの大学入試センター試験からの主な変更点

- (1) **思考力，判断力，表現力等を発揮して解くことが求められる問題の重視**
 大学入学共通テストでは，平成21年告示高等学校学習指導要領において育成することを目指す資質・能力を踏まえ，知識の理解の質を問う問題や，思考力，判断力，表現力等を発揮して解くことが求められる問題を重視して出題します。詳しくは，大学入試センターのホームページ（→裏表紙）に，「令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト問題作成方針」を掲載しています。
 なお，過年度卒業者に対する別問題は出題しません。
- (2) **「数学①」の試験時間の変更**
 「数学①」の試験時間を60分から70分に変更します（→p.5）。
- (3) **「理科②」の出題方法**
 大学入試センター試験で出題されてきた選択問題については，設定しません。
- (4) **「英語」の出題方法等**
 外国語の「英語（筆記）」の名称を「英語（リーディング）」に変更します。
 なお，大学入試センター試験で出題されてきた「発音・アクセント・語句整序など」を単独で問う問題は出題しません。
 また，英語表記は，現在国際的に広く使用されているアメリカ英語に加えて，場面設定によってイギリス英語を使用することもあります。
- (5) **「英語」の配点の変更**
 「英語」において，リーディングの配点が200点から100点に，リスニングの配点が50点から100点に変更されます。
 なお，各大学の入学者選抜におけるリーディングとリスニングの成績の利用方法については，志望する大学の募集要項等で確認してください。
- (6) **「英語（リスニング）」の問題音声**
 「英語（リスニング）」では，聞き取る英語の音声を2回流す問題と，1回流す問題があります。
 流す回数は，下の表のとおりです。

問題	第1問	第2問	第3問	第4問	第5問	第6問
流す回数	2回	2回	1回	1回	1回	1回

- (7) **「段階表示」の大学への提供**
 大学入学共通テストを利用する各大学に対し，当該大学の入学志願者の教科・科目の試験成績について，「科目別得点」に加えて新たに9段階の「段階表示」を提供します（→p.54）。

2 その他の変更点

入試区分の名称について、「一般入試」，「AO入試」，「推薦入試」の名称が，それぞれ「一般選抜」，「総合型選抜」，「学校推薦型選抜」に変更されます。

3 新型コロナウイルス感染症対策に伴う変更点

(1) 試験実施期日

① 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う学業の遅れ（以下、「学業の遅れ」という。）に対応する選択肢を確保するため，本試験の実施期日は以下のとおりとします。

ア 令和3年1月16日（土）及び17日（日）

イ 令和3年1月30日（土）及び31日（日）

② 令和3年1月30日（土）及び31日（日）に実施する試験については、「出願資格」（→p.8）に該当する者で令和3年3月に卒業（修了）見込みの者のうち，学業の遅れのため当該日程で受験することが適当であると在学する学校長に認められた者が対象となります。

なお，手続きについて，高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校に在学する者は，在学する高等学校等において説明があります。それ以外の「出願資格」に該当する者で令和3年3月に卒業（修了）見込みの者等は，大学入試センター事業第1課（→裏表紙）まで照会してください。

また，令和3年1月30日（土）及び31日（日）に実施する試験の試験場は，全都道府県に設定します。

(2) 追試験

令和3年1月16日（土）及び17日（日）に実施する試験について，疾病，負傷等やむを得ない事情により受験できない者を対象として，追試験を1月30日（土）及び31日（日）に実施します（→p.52）。

なお，追試験の試験場は，全都道府県に設定します。

(3) 特例追試験

① 令和3年1月30日（土）及び31日（日）に実施する試験について，疾病，負傷等やむを得ない事情により受験できない者を対象として，特例追試験を2月13日（土）及び14日（日）に実施します（→p.52）。

なお，特例追試験の試験場は，原則として全国を2地区に分け，地区ごとに1か所設定します。

② 特例追試験の出題教科・科目の出題方法及び試験時間割については，令和3年1月16日（土）及び17日（日）に実施する試験並びに1月30日（土）及び31日（日）に実施する試験とは異なります。

特例追試験の出題教科・科目の出題方法等は，裏表紙裏に掲載しています。

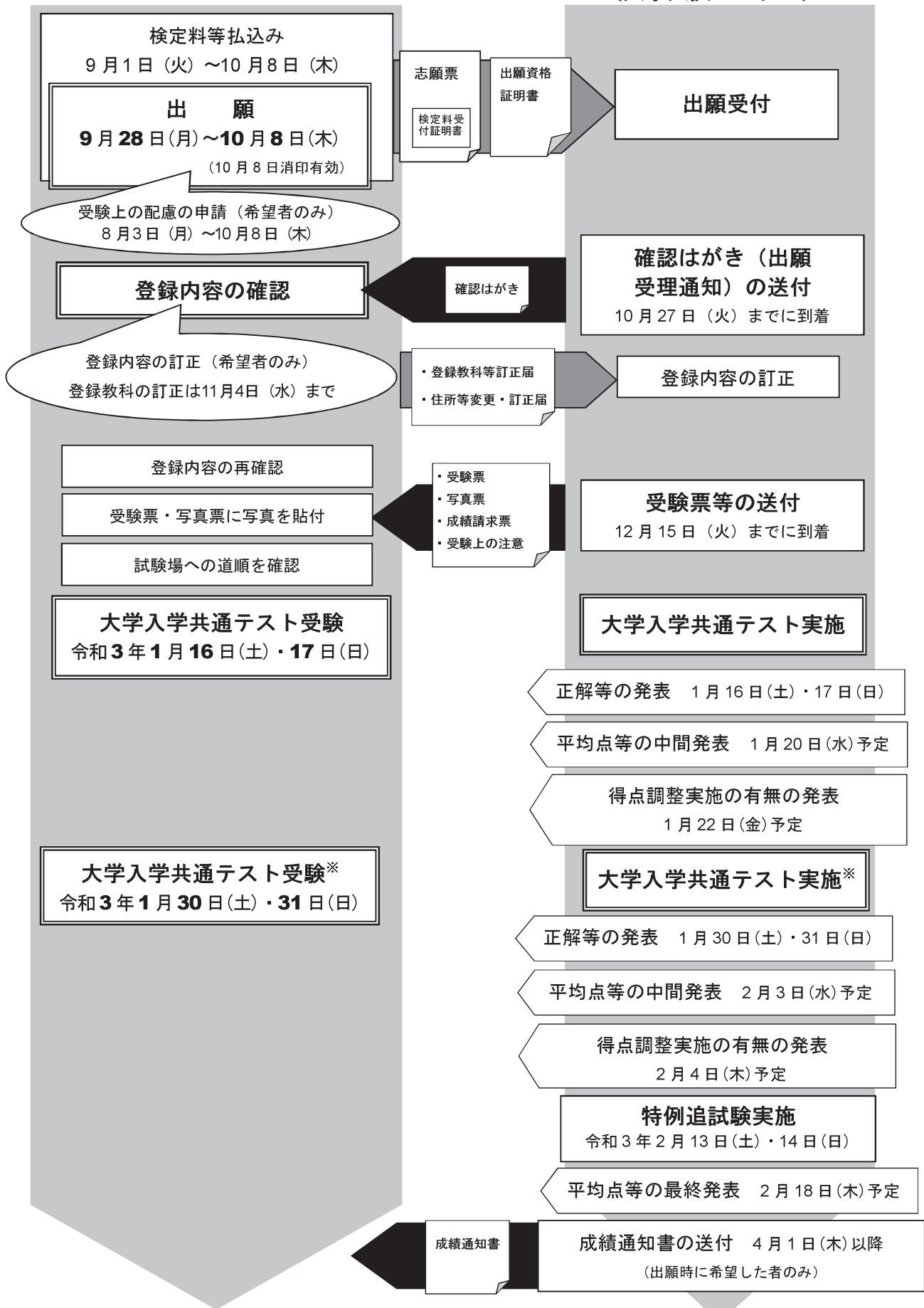
なお，特例追試験の成績の取扱いについては，志望する大学の募集要項等で必ず確認してください。

4 令和3年度大学入学共通テスト実施日程

〔志願者〕

〔大学入試センター〕

試験概要



※ 出願資格(→p.8)に該当する者で令和3年3月に卒業(修了)見込みの者のうち、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う学業の遅れのため当該日程で受験することが適当であると在学する学校長に認められた者及び1月16日、17日に実施する試験の追試験を受験する者を対象とする。

5 出題教科・科目等

教科	グループ	出題科目	出題方法等	科目選択の方法等	試験時間(配点) (注1)
国語		「国語」	「国語総合」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する(注2)。		80分(200点)
地理歴史		「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	「倫理、政治・経済」は、「倫理」と「政治・経済」を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。 ただし、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない(注3)。 なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点) (注4)
公民		「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」			
数 学	①	「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」	「数学Ⅰ・数学A」は、「数学Ⅰ」と「数学A」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学A」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔場合の数と確率、整数の性質、図形の性質〕	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。	70分(100点)
	②	「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」※ 「情報関係基礎」※	「数学Ⅱ・数学B」は、「数学Ⅱ」と「数学B」を総合した出題範囲とする。 ただし、次に記す「数学B」の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。 〔数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測〕 「簿記・会計」は、「簿記」及び「財務会計Ⅰ」を総合した出題範囲とし、「財務会計Ⅰ」については、株式会社の会計の基礎的事項を含め、「財務会計の基礎」を出題範囲とする。 「情報関係基礎」は、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	左記出題科目の4科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	60分(100点)
理 科	①	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		左記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。	【理科①】 2科目選択 60分(100点) (注5)
	②	「物 理」 「化 学」 「生 物」 「地 学」		A 理科①から2科目 B 理科②から1科目 C 理科①から2科目及び理科②から1科目 D 理科②から2科目 なお、受験する科目の選択方法は出願時に申し出ること。	【理科②】 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点) (注4)

外国語		<p>「英語」※ 「ドイツ語」※ 「フランス語」※ 「中国語」※ 「韓国語」※ (注6)</p>	<p>「英語」は、「コミュニケーション英語Ⅰ」に加えて「コミュニケーション英語Ⅱ」及び「英語表現Ⅰ」を出題範囲とし、【リーディング】と【リスニング】を出題する。 なお、【リスニング】の問題音声は流れる回数は、1回読みのもと2回読みのもので構成する。</p>	<p>左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、※が付された科目の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。</p>	<p>「英語」 【リーディング】 80分(100点) 【リスニング】 (「英語」のみ) 60分(うち解答時間30分) (100点) 「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 【筆記】 80分(200点)</p>
-----	--	--	--	--	--

- (注1) 国語及び外国語（「英語」を除く。）は、各教科について1試験時間とし、地理歴史及び公民については、合わせて1試験時間とします。数学及び理科は、①及び②の出題科目のグループごとに、外国語「英語」は、リーディングとリスニングに試験時間を分けます。
- (注2) 「国語」の出題分野別の配点は、「近代以降の文章(2問100点)、古典(古文(1問50点)、漢文(1問50点))」とします。
なお、国語の出題分野のうち、大学が指定した分野のみを解答する場合でも、国語の試験時間は80分です。
- (注3) 地理歴史及び公民の「科目選択の方法等」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「世界史A」と「世界史B」、「日本史A」と「日本史B」、「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理、政治・経済」の組合せを指します。
- (注4) 「地理歴史、公民」及び「理科②」の試験時間において「2科目受験する」と登録した場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行いますが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とします。
- (注5) 「理科①」については、1科目のみの受験は認めません。
- (注6) 外国語において「英語」を選択する受験者は、原則として、リーディングとリスニングの双方を解答してください。リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行いますが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、試験時間は60分とします。
なお、「英語」以外の外国語を受験した場合、リスニングを受験することはできません。

6 試験期日・試験時間割

期 日	出 題 教 科 ・ 科 目		試 験 時 間 (注1, 2)
令和3年 1月16日(土) 及び 1月30日(土)	地理歴史 公民	「世界史A」「世界史B」 「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理, 政治・経済」	2科目受験 9:30～11:40 (注3) 1科目受験 10:40～11:40 (注3)
	国 語	「国語」	13:00～14:20
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」	「英語」 【リーディング】 「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 【筆記】 15:10～16:30 「英語」 【リスニング】 17:10～18:10
1月17日(日) 及び 1月31日(日)	理科①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:30～10:30 (注4)
	数学①	「数学I」「数学I・数学A」	11:20～12:30
	数学②	「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」	13:50～14:50
	理科②	「物理」「化学」「生物」「地学」	2科目受験 15:40～17:50 (注3) 1科目受験 16:50～17:50 (注3)

(注1) 試験室への入室終了時刻については、受験票(→p.32)とともに送付する**受験上の注意**で明示します。

(注2) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、リスニングは、試験開始時刻(17:10)までに入室していない場合は受験することができません。

(注3) 「地理歴史, 公民」及び「理科②」については、登録した科目数(1科目又は2科目)によって試験開始時刻が異なります。「2科目受験する」と登録した場合は、試験当日に1科目のみを受験する(1科目だけ受験を取りやめる)ことはできません。このため、遅刻者の試験室への入室限度(「地理歴史, 公民」は9:50, 「理科②」は16:00)までに入室しないと、後半の第2解答科目を含めて、その試験時間は一切受験することができません。また、第1解答科目のみ受験し、途中退室することもできません。

なお、第1解答科目と第2解答科目の間の10分間は、トイレ等で一時退室することはできません(→p.47)。

(注4) 「理科①」は試験時間60分で必ず2科目を選択解答してください。1科目のみの受験は認めません。